

第 24 回教育課程編成委員会 議事録

開催時：令和 7 年 3 月 26 日（水） 13：30～14：30

場所：下関福祉専門学校 3 F

出席者：冨田 陽治（一般社団法人 山口県介護福祉士会 下関ブロック長）
竹永 裕子（社会福祉法人 菊水会 福祉相談室長）
関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）
藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）
長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）
安田 富美代（下関福祉専門学校 専任教員）
木村 薫（下関学院 事務局）（敬称略）

挨拶 下関福祉専門学校 校長 関谷 豊

卒業、入学の状況報告をする。

令和 6 年度卒業生 12 名（うち留学生：※6 名）

令和 7 年度入学生 25 名（うち留学生：※8 名）※ミャンマーより

来年度の入学生は計 25 名であるが留学生 8 名、訓練生 3 名の予定である。

卒業したミャンマーからの留学生 6 名は大変優秀であり、ミャンマー人の方に引っ張られて日本人学生もよく頑張っていた。

議事

- 1 今年度の教育目標評価及び課題
- 2 今年度の「福祉と文化」特別授業について
- 3 各委員からの意見要望
- 4 その他

議事 1 今年度の教育目標評価及び課題

それぞれの教育目標評価及び課題を各学年担任が報告する。

【1】 常に尊厳の保持と倫理を意識し、自律した介護サービスを提供できる知識・技術を養うことができる。

1 年の個別目標：介護における尊厳の保持と倫理とは、何かを理解することができる。

1 学年評価

講義ではおぼろげに理解しているようであったが、一段階実習職員の対応や実際に利用者に関わったことで尊厳の保持とは何か感じることができたと思われる。

2年の個別目標：介護実践において尊厳と倫理を意識した言葉遣い、態度で自立支援を行うことができる。

2 学年評価

2年次で2段階実習18日間、3段階実習27日間と長い実習の中で、利用者に関わることが増えるにつれ尊厳と倫理を意識した実習を行うことができたと思われる。自立支援を行うことができ、実習では、尊厳・倫理を意識した言葉遣い態度で関わっていた。また、実習施設からも利用者に対する態度や関わり方に高評価を頂いている。

【2】 チームケアを行うための自分の役割を自覚し、チームケアに貢献できる。

1年の個別目標：TPOに合わせたコミュニケーションを、とることができる

1 学年評価

実習中に職員、利用者に対しそれぞれに即したコミュニケーションをとることができたと思われる。実習評価5点中3.43と評価を頂いている。しかし、コミュニケーション能力に差があり積極的にコミュニケーションをとれた学生と全くかかわることが出来なかった学生がいた。また、TPOに合わせたコミュニケーションが不十分なため指導が必要となる学生もいた。

2年の個別目標：チームケアに欠かせない記録等において、報告、連絡、相談ができる。

2 学年評価

実習中の記録物について、自分独自の判断でなく職員に相談や報告を行っていた。しかし自分の思い込みで判断し、報告連絡が後回しになっている学生がいた。

【3】 生活課題の明確化において、ADLだけに注目するのではなく、利用者の望む生活に焦点をあてることができる。

1年の個別目標：介護サービスを受け生活をしている利用者の、障害や疾病による生活のしにくさを理解することができる。

1 学年評価

障害や疾病自体は学習できていたが、生活のしにくさに結びつかずピンとこない学生がいた。関わった利用者は限られており十分な理解に至っていない。

2年の個別目標：本人の望む生活の構築に基づいた生活課題を、明確にすることができる。

2 学年評価

本人の望む生活よりも自身の思いや施設の意向を優先したため、生活課題がぼんやりとしたものになったり、自分の思い考えが先立ち、利用者の望む生活に焦点をあてることが難しかった学生がいた。

委員からの意見及び質疑

A 委員：尊厳の保持について「できたと思われる」とあるが、尊厳の保持とはどのように教えているのか。

一年担任より

基本的には自分の親がされて嫌なことをしてはいけない、ということをもまずは伝えている。

人には尊厳があるということ、自分がされて嫌なことは人にもしてはいけないということをも、今回おぼろげながら理解したと思う。

A 委員：尊厳と倫理を意識した言葉使いで高評価を得たとあるが？

二年担任より

留学生がとても良いと施設に褒められた。施設実習の中で利用者様とのかかわりが増えるにつれ、尊厳と倫理を意識した、それぞれの利用者様にあった言葉使い、態度を実践することができたのだろうと思う。

B 委員：実習先は特養が多いのか？

二年担任より

本人の希望をとり、無理なく通えるところを選んでいる。今現在 20 施設に登録していただいている。

学校長： 極力、実習先で就職するよう学生にはすすめている。校内就職説明会もそのために実施している。

学校長： 教育目標 2 の報告連絡が後回しとは？

二年担任より

留学生のこと。利用者様の生活を自分の思い通りにすることは出来ない、ということをもなかなか理解できない。自分の思い通りに先に実行してみて後から相談・報告ということがあった。

学校長： 一年目標の TPO とは？

一年担任より

質問時の声の大きさであったり声をかけるタイミングが分からない、空気が読めない、声をかけることができない、などがあった。

A 委員 教育目標3の利用者の望む生活に焦点を当てることは難しいでしょうが、どうか？

二年担任より

実習先の職員がこうじゃない？と言っても「いや、この方が良いと思う」と言い張り従わない学生もいたが、おおむね高評価を得た。

議事2 今年度の「福祉と文化」特別授業について

・今年度開催授業

授業名	コマ数	授業名	コマ数
ヘアメイク	1	口腔ケア	2
着付け	1	昭和史	1
昭和の歌	1	介護予防	2
職業倫理	1	園芸療法	1
普通救命講習	2	専門性の展開	1
卒業生との交流	2	合計	15

・委員からの意見・質疑

学校長 アンケートではおおむね高評価を得ている。

学校長 「昭和の歌」が好評であったようだが、やはり昭和の歌の授業は人気なのか

A 委員 今の人たちは童謡をまず知らないから、ある意味「昭和の歌」を知ることは武器になると思う。

二年担任 講師が「手遊び」も一緒に教えていただき、人気があるようだ

学校長 来年度に向けて、こういう授業を取り入れたら良いのではないか、という意見があればいただきたい。ビジネス系などはどうか？

二年担任 ビジネス系については専門性の展開の授業の中で少し触れていただいている。

A 委員 歌などは本当に良いと思う。ただ、利用者様自身が「昭和の歌」を分からない世代も増えてきているのも現状。時代ですね。

二年担任 最近はややみに人に触れなくなってきたりもする。今の人たちは、人に触られたりするような経験もなくなっているようだ。

学校長 ゴミ拾いなどにも参加したようだが、学生のためにもなるし、世の為人の為にもなるしとても良いと思う。

A 委員 施設側はこういう人材を望んでいるなど、学生と忌憚なく話しあえるような場があると良いと思う。

A 委員 他に要望はとくにない。それぞれが衰退しないよう、一緒になって頑張っていかないといけない
と思っている。

学校長 来年から国家試験免除がなくなる。国家試験不合格なら准介護福祉士としての勤務となる。資格
のパート合格も OK となった。養成校自体も減ってきている。山口県に二校、Y I C と本校のみ。
うちは最後の学校となると思う。頑張っていきたい。

また学生との交流などでお世話になるかもしれない。その時はよろしくお願いします。

本校では留学生用の授業もやっている。通常の授業の後に実施している。

次回委員会開催日の日程について

令和7年8月開催予定